

(学)長橋学園 杉田幼稚園の「令和3年度 自己評価及び学校関係者評価」結果

令和4年3月8日

(学)長橋学園 杉田幼稚園

### 1、幼稚園(杉田幼稚園)の教育目標

教育基本法及び学校教育法を基本として、幼稚園教育(幼児教育)を推進し、豊かな心を持つ人を育成することを目的とし、次の教育目標を定める。

**教育目標:「明るく 元気に 頑張る子」**

- ・物を大切にする子
- ・思いやりのある子
- ・お友だちとたくさん遊ぶ子
- ・お話をよく聞くことができる子
- ・思ったことがはっきり言える子
- ・考える力のある子

### 2、令和3年度の事業計画及び重点目標

**事業計画～「緑いっぱい自然の中で、元気な子が育つ学園」として教育活動の推進**

- ① 「有徳の人」づくりに向け、園児一人一人を大切に、生き生きと活動できる場の設定及び新型コロナウイルス感染症防止・災害対策等の危機管理の徹底
  - ② 園児達の発達段階に応じた援助に努め、生きる力の基礎を培うため、園児達のモノづくり体験の実践
  - ③ 思いの伝え合いの場づくりを目指し、模範意識の芽生えを育む活動ができる教育課程の工夫
  - ④ 小学校への接続が円滑にできるよう、近隣園や保護者・地域と共感し合い、教育機関等との連携強化
- 以上の事項を重点として、教育内容のさらなる向上に努める。

### 3、評価項目の達成及び取組状況

<A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、成果が十分でない

D:取り組みが不十分である>

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	結果	内容・理由等	結果	内容・理由等
1、保育内容 (1) 保育の 計画性	A	園の教育理念や方針を基に、園全体・各学年・クラスの保育計画(年間・月間・週案)を立て、園児の発達に応じた保育に努め、反省を生かし、次へのステップにしている。 コロナウイルス感染防止に対応すべく、環境構成や行事の工夫を施して、保育計画改善することができた。	A	今年度も当初より、コロナの休園があり、厳しい環境になったが、教育目標に沿って、教職員が保育を計画的に執行し、日・週案やその反省を園長・副園長等が閲覧し、助言等を行っている旨を伺い、園全員が一つになって教育活動に当たっている状況に敬意を表する。 また、若手教員も成長され、子どもたちの発達に合わせた環境構成を取り入れ、自らが率先して園運営への協力をする姿勢が自己評価から伺われる。
(2) 保育の あり方・幼 児への対応	A	在園児達の個々の特質などを各教員で共有し、保護者からの的確な情報を得て、日々の生活を通じ、園児の気持ちに添えるよう心掛ける。 コロナ対応として園児達の不安解消に努めている。今後、預かり保育や要配慮児への取組等も強化する。		園児達のさらなる成長に向け、保護者の信頼を受けて、子供の反応を捉え、教員各位も自信を持って、夏休み等の預かりや要保護児の教育を実践されることを願います。

2、保育者としての資質・能力	A	<p>本園教員がお互いの立場、役割を理解し合い、対話を大事にしながら、全教員が自己の専門性を高め、保育に自信を持って取り組めるよう各自研鑽を積み、専門性を高めたい。</p> <p>また、1人の教員が休職したため多忙であったが、園全体のコミュニケーションを図り、先輩は後輩指導に意を用い、適切な保育活動ができた。</p>	A	<p>自己評価から、教員それぞれが研鑽を重ね、全員が相互に補い合いながら、自己の力量向上に努める姿が伺える。</p> <p>さらに、国や県の施策も教員の資質向上を求めており、日々の研鑽を積むと共に、教育課程の充実を目指し、コロナ禍が終息したならば、公開保育など他園との交流・共同研究を通じ、教員全体のさらなる向上を目指して欲しい。</p>
3、保護者への対応	A	<p>教育目標に掲げた保護者や地域との共感し合う教育活動が、コロナの影響で縮小されたが、運動会や生活発表会には保護者の協力もあり、バケツ稲づくりや餅つきでは地域農業団体との連携を図ることができた。</p> <p>保護者への対応の面では、保護者面談も日を定めて実施し、情報交換のお便り帳では、写真や絵柄を挿入する等工夫をして、家庭との共通理解を実践している。また、子育て支援として「たまごちゃん教室」に参画し、保護者の交流に努めている。</p>	A	<p>コロナ感染防止のため、運動会、生活発表会、交通教室、カレー作りなど、親子協働作業が限られたが、バケツ稲づくりやひまわり種まきなど、モノづくりの基礎教育活動は、地域団体との連携・支援が図られて良かった。</p> <p>また、保護者からの子育てに関する相談(要配慮児)等も多くなっている。</p> <p>特に、保護者とのお便り帳の交換では、写真や絵柄を挿入する等工夫をして、家庭との共通理解を実践された。</p> <p>なお、子育て支援としての「たまごちゃん教室」の幅広い活用を期待する。</p>
4、地域の自然や社会とのかかわり	C	<p>コロナ感染症が終息した後は「運動会」や「すぎの子フェスタ」などに、区民の参加を啓発し、園・家庭・地域が一体となった教育を進めたい。</p> <p>今年度は中止となったが、「地区敬老会」へ年中児の参加、年長児の「茶道教室」など地域の方と直接的な連携・交流を図りたい。</p> <p>また、教員自身が地域の自然や歴史、寺社等の知識を深め、それを素材とした教育活動にも取り入れていくことが地域との関りも深まり、交流に繋がりが、園児の地域意識を助長する上からも大切と思う。</p>	B	<p>事業報告を伺い、今年度もコロナのため学園行事が殆ど中止となったが、今後、園と家庭・地域が一体となっていくことを願っている。特に、年長児の鼓隊演奏が地域との触れ合いに役立ち、園児の人間形成の基礎となるので、「市消防フェスティバル」の開催が待たれる。</p> <p>また、カレーづくり・餅つきを始め、さつま芋やバケツ稲を育てる体験学習にも地域の協力があり、保護者も参加しての親子協働による活動など続けて欲しい。</p> <p>さらに、教員自身が地域の歴史や寺社の由来などの探求を進めていく姿勢があるので、しっかりと学び、園児の教育活動に生かしていくことを期待する。</p>
5、研修と	B	年間を通じ、園全体で、研修テー	B	本年度の「公開保育」は、コロナ感染

研究	<p>マ(遊びで変化していくコミュニケーション)を設定し、園内研修を施行し、市私立幼稚園の「研究資料」を提出できたが、各種の県協会主催の研修が中止となった。コロナ禍が収まった状況により、園児一人一人の心のケアに関する研修も課題である。</p> <p>また、他園の良い所を吸収できる市内10園による「公開保育」も今年度は中止となり、近隣幼稚園との園児の交流会等も計画通り進まなかったが、来年度は、小学校との連携や他幼稚園との相互交流研修・公開保育に積極的に挑戦し、さらにオンライン研修へも参画していきたい。</p>	<p>防止のため中止となったが、来年度も引き続き実施園であり、他園の教員との交流が実施され、教育者としての資質向上に一層努められることを期待する。</p> <p>日常勤務の中でも研修機会を増やし、その成果を教員間で分かち合うなど一層の努力への決意も伺っている。</p> <p>小学校との幼小連携の機会を創るとともに、自己評価に掲出されている他の幼稚園との共同研究・研修など幼幼連携の推進は、今後、是非とも進めて頂きたい事案である。コロナ禍が園児たちの心にも影響を与えており、そのアフターケアなどの研修にも挑戦され、オンライン研修への参画も併せて期待する。</p>
----	--	---

#### 4、重点目標等に対する総合的な評価結果

結果	内容・理由等
A	<p>本年度は、昨年度に引き続き新型コロナ感染防止のための休園などもあり、年間を通じた園全体の保育計画及び月間・週間指導計画の実施には大変だったと思うが、教職員各位が、自己の教育活動や管理運営面でも、コロナ感染防止を徹底し、日々の園児の生活を進めて頂き感謝するとともに、いろいろな工夫やアイデアを教育活動の中で施行され、評価委員会として高く評価する。</p> <p>学園行事の「秋の遠足」を始め、「茶道教室」や「高校生による音楽会」等が中止となったが、「運動会」や「生活発表会」は、保護者の協力・支援もあり、「カレーづくり体験」、「餅つき」など地域団体の方々との協働や支援によって、「地域と共に生きる教育の実践」を進められた経緯を評価するとともに、預かり保育や要配慮児への取り組み等の幅広い教育活動に参画されることを期待する。</p> <p>また、地元の農業(さつま芋・落花生)や製紙業(古紙リサイクル)などの教育資源を活かした学習やモノづくりへの参加、さらに「富士山の日」・「おやこんぼの日」等を活用する生活体験など、園児の豊かな心を育む上でも効果があった教育活動と思う。そのためには、教員自らが地域(自然、歴史、地形、寺社、祭り等の教育資源)を学ぶ機会を増やし、その素材を園児たちの学びに活用されたい。</p> <p>今後も、園と家庭(保護者)・地域が連絡を密にし、保護者参観日の内容を充実するなど、よりよい未来の子ども達を育てる環境づくりを期待する。なお、ホームページは、随時見直しを行い、幼稚園を多くの方に理解頂けるよう内容も一層充実されることを期待する。</p>

## 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
1、教育計画に基づく地域、保護者と共感し合う教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染の終息を念頭に、今年度の自己評価結果を活かせるように年間計画を立て、日々の保育を常に振り返り、見つめ直しながら、新しいよりよい保育活動を進めていく。</li> <li>・杉田幼稚園から地域への情報発信を増やし、特に、学園の主要行事への地域住民の参加を回覧板やHPによって啓発し、保護者や地域等に杉田幼稚園をアピールするとともに、教員自身も地域の自然、歴史、地形、寺社を学んでいく。</li> </ul>
2、教職員の資質向上を目指した研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育要領の内容を基本として、要配慮児への対応及び地域や保護者との共感し合える新たな課題等をテーマとした教職員の研究活動を充実するとともに、その成果を園内研修で発表するなど、研究・研修体制を強化する。</li> <li>・地域の学校や幼稚園との連携を深め、教職員間の交流や共同研究等を行うとともに、教職員のチームワークの良さを、園活動の中で園児達に示し、伝授していくことで、有意義な園生活を送れるように努める。</li> </ul>
3、学園の防災・危機管理等の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コロナ感染防止ガイドライン」を始め、「地震等防災対策マニュアル」や「危機管理マニュアル」を随時に見直すとともに、家庭との連携を図り、防災や衛生管理機関等との連絡体制を確立し、的確な避難訓練、情報提供等を実施し、園内遊具の点検・改善整備も行い、危機管理教育の推進を図り、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症対応など一層充実していく。</li> </ul>

## 6、学校関係評価者

(参加者)

- ・保護者(杉田幼稚園PTA会長)
- ・地域住民(地区在住)
- ・学識経験者(前天間地区生涯学習推進会副会長)

令和3年度 学校法人長橋学園 杉田幼稚園 財務情報公開

1.財務状況

【資金収支計算書】

科目	決算額
収入の部	
学生生徒等納付金収入	35,530,570
手数料収入	38,000
寄付金収入	120,440
補助金収入	30,929,000
資産売却収入	0
不随事業・収益事業収入	8,967,033
受取利息配当金	1,095
雑収入	568,530
その他の収入	7,555,250
資金収入調整勘定	△ 2,216,810
前年度繰越支払資金	10,594,068
収入の部 合計	92,087,176
支出の部	
人件費支出	47,284,274
経費支出	22,625,023
施設関係支出	4,323,000
設備関係支出	602,586
資産運用支出	586,210
その他の支出	2,780,191
資金支出調整勘定	△ 756,738
翌年度繰越支払資金	14,642,630
支出の部 合計	92,087,176

【貸借対照表】

科目	本年度額
資産の部	
固定資産	285,796,120
流動資産	16,859,440
資産の部 合計	302,655,560
負債の部	
固定負債	3,100,566
流動負債	1,927,472
負債の部 合計	5,028,038
基本金の部	
第1号 基本金	372,854,530
第4号 基本金	6,000,000
基本金の部 合計	378,854,530
翌年度繰越収支差額	△ 81,227,008
純資産の部 合計	297,627,522
負債及び純資産の部 合計	302,655,560

【事業活動収支計算書】

科目		決算額	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金収入	35,530,570
		手数料	38,000
		寄付金	120,440
		経常費等補助金	30,229,000
		付随事業収入	8,967,033
		雑収入	568,530
	支出	人件費	47,680,674
		経費	29,890,565
		徴収不能	0
		教育活動支出計	77,571,239
	教育活動収支差額		△ 2,117,666
	収入	受取利息・配当金	1,095
		その他の教育活動外収入	0
支出	借入金等利息	0	
	教育活動外収支差額	1,095	
経常収支差額		△ 2,116,571	
教育活動外収支	収入	資産売却差額	0
		その他の特別収入	700,000
	特別収入計		700,000
	支出	資産処分差額	0
その他の特別支出		0	
特別支出計		0	
基本金組入前当年度収支差額		△ 1,416,571	
基本金組入額合計		△ 4,821,586	
当年度収支差額		△ 6,238,157	
前年度繰越収支差額		△ 74,988,851	
翌年度繰越収支差額		△ 81,227,008	
事業活動収入計		76,154,668	
事業活動支出計		77,571,239	

【財産目録】

科目	金額
基本財産計	237,615,330
運用財産計	65,040,230
資産の部 合計	302,655,560
固定負債計	3,100,566
流動負債計	1,927,472
負債の部 合計	5,028,038
差引純資産	297,627,522
正味財産の部 合計	302,655,560

# 令和3年度 事業報告 (学)長橋学園 杉田幼稚園

## 1、学校法人の実績

昭和54年3月15日に設立以来、40年余の歴史を踏まえ、「豊かな人間性の基礎を育み、健康で明るい素直な子どもの育成」と「地域に根ざした幼児教育施設の役割」を果たし、コロナ禍による休園や諸行事の中止・縮小等もあったが、感染防止対策を徹底し、学校法人として、地域に役立つ幼稚園として、安定した経営を行うことができた。

## 2、就園児の実績

区 分	年長 (はと)	年中 (ひばり)	年少 (ひよこ)	満3歳児 (もも)	合 計
学 級 数	2	2	1	1	7(園則学級数:9)
園児数 (人)	40 (卒)	30	26	18	114

<令和4年3月現在>

## 3、研修の実績

県私立幼稚園振興協会等の外部研修がコロナ禍の影響で、殆ど中止となり、市私立幼稚園協会の公開講座、実技研修等も中止となって、当初計画した教職員の資質向上の研修メニュー全体を進めることができなかった。

そのため、重点を園内研修に求め、園児の諸行動に関するテーマを学年毎に決め、教員全体で話し合う機会を設定したり、教育活動の教材や活用素材の研究、感染症の安全対策など、多彩な研修方法を教員相互で工夫しながら教員自身が資質向上に勤め、実質的な成果を得ることができた。

## 4、教育活動(行事)の状況

4月以来、新型コロナ感染防止対策を徹底し、「明るく元気に頑張る子」を園の目標に、① 園児一人一人が、生き生きと活動できる場づくりを実施した。② 家庭、地域社会及び幼稚園が一体となり連携を深め相互に理解し、共感し合える園づくりとしてバケツ稲作体験教室(苗植え、稲刈り、脱穀、もちつき)、茶道教室など規模を縮小し、或いは方法を工夫しながら実施した。また、この一環として「おやこんぼ事業」(振興協会主催)を推進した。③ 運動会、生活発表会と本園の二大学園行事は、日時の変更や使用する会館の席次・参加保護者の数減等により、園児の出場各種目・出演が無事に終えることができた。④ 小学校への接続が円滑にできるよう園児たち(年長児)の「交通安全教室」を2回に亘って開催し、交通指導員・リスさんクラブ員(保護者)の指導で、横断歩道での注意などを学んだ。平成25年度から始まった満3歳児保育も、最終的に18名が就園した。

＜主要学園行事の実績＞

年 月	行 事	年 月	行 事
令3 . 4	・入園式、始業式、内科検診	令3.10	芋ほり（全員）及び稲刈り・脱穀体験（はと組）
〃 5	・歯科検診、さつま蔓挿し・ひまわり種蒔き（はと組）	〃11	・防災訓練(引渡し)、消防フェスティバル演奏（中止）、生活発表会（席幅工夫）
〃 6	・防災訓練、子育てフェア（中止）、ジャガイモ堀体験（もも組）、カレーづくり食育体験（全員）	〃12	・餅つき体験（保護者不参加、鏡餅のみ作成）、クリスマス-サンタ来園（プレゼント）、宮東オケ（中止）、黒田幼稚園との幼幼連携（中止）、終業式
〃 7	・すぎの子フェスタ、市私立幼稚園協会音楽鑑賞（はと組）、終業式	令4 .1	・始業式、まゆだま作り(飾り)・正月遊び（凧作り・凧上げ、かるた作り）
〃 8	・夏期保育(流しソーメン中止、スイカ割)、中学生職場体験受入（中止）	〃 2	交通安全教室、豆まき（園児と教職員で内容工夫）、茶道体験教室（中止防止）、保育参観（学年毎：中止・代替：マラソン参観）、お店屋さんごっこ、縄跳び
〃 9	・始業式、運動会（雨天：翌日実施・家族の参加減）、防災訓練、落花生堀（年長児のみ）、杉田敬老会出演（ひばり組中止）	〃 3	・お別れ遠足（年長児：中止）、お別れ会、卒園式(規模縮小)、終了式

5、施設・設備整備の状況

・園児の安心、安全確保のため、施設、設備の点検を実施するとともに、遊具等点検（年9回）を行った。平成30年度末に設置した「防犯カメラ装置」によって園舎内外の保安に役立っている。

本年度は施設設備に関しては、**新園舎トイレの改修4,973千円**を施工した。事務室鉄庫の改善を図った。

6、管理・運営関係の実績

(1) 預かり保育<保育時間外に加え、夏・冬休み預かり保育を継続実施> (2) 通園バスの運行  
 (3) 園庭開故事業（子育て支援「たまごちゃん教室」事業<一部中止>）実施 (4) エコ教育の推進と古紙回収 (5) 教育実習の受け入れ (6) P T A活動（まかいの牧場中止、諸会議：書面議決）(7) 幼児教育無償化（2年目）への対応事務 (8) 新教育要領に基づく教育課程充実 (9) 「杉田幼稚園」ホームページの改良 (10) 私立幼稚園教育研究東海北陸大会への参加<中止> (11) 学校評価の徹底 (12) コロナウィルス感染症への対応（諸学園行事の縮小・中止など～お別れ遠足、入園式、卒園式、園外参加行事、P T A関係会議等）